

労災かわらばん

—初夏号—

Vol.29 発行日/平成22年6月9日 編集/釧路労災病院新聞局

新院長ご挨拶 皆さん、初めまして!



院長
草野 満夫

この4月より、院長を拝命しました草野です。はじめに自己紹介をさせていただきます。これまでの人生の半分は東京、半分は北海道です。北海道が大好きで昨年、また東京から戻ってきました。東京生まれ、高校まで東京、その後、北大時代を含め札幌11年、旭川20年、スウェーデン1年、その他、赤平、室蘭、ロサンゼルスに短期間住みましたが、釧路は初めてです。

趣味はスポーツで、中高時代は器械体操、大学でサッカー、医者になってからは野球。東京では中高の仲間とチームも作り、つい最近まで興じていました。皆でわいわいにぎやかに騒ぐことも嫌いではありません。自分で言うのもなんですが、比較的単純な人間です。よろしくお付き合いください。

釧路は寒く、霧が多くて薄暗く、住みづらいぞ〜!と脅かされました。案の定、4月中旬過ぎても雪は降るし、5月に入っても朝晩は寒い風が吹いています。しかし、町の人、病院で会うみんなが皆明るく、気持ち暖かく、やさしい人ばかりで、釧路に受け入れられて嬉しく思います。病院は広々とゆつたりとして、病室も清潔、ナースステーションも機能的で、この病院も気に入りました。

医者としてのスタートは道央の赤平炭坑病院です。ヘルメット、カンテラをつけて立坑から降り、トロッコに乗って採炭現場に入ったこともあります。落

盤事故の炭坑夫を診たこともありました。医者になりましたが、何もできませんでした。すぐに大学に戻りました。麻酔研修を市立札幌病院で、外科研修を国立札幌病院、現、北海道がんセンターで行い、その後、北大、スウェーデンのルンド大、旭川医大、昭和(東京)の各大学病院で医学生教育、臨床に従事しました。

研修時代に忘れられない経験をしました。退院直前の胃癌術後の患者さんが薬剤性劇症肝炎で、瞬く間に黄疸が出現、昏睡となり数日で亡くなってしまいました。肝臓という臓器の恐ろしさを肌で感じ驚愕しました。さらに、北大病院で最初に受け持った患者さんは33歳という若い肝臓癌でした。そんな経験から肝臓外科に足を踏み入れました。これまで、原発肝臓癌、転移性肝臓癌の手術を多く手がけてきました。脈の触れない肝外傷、腹から突出している巨大肝臓など、リスクの高い患者さんを手術で救えた喜び、一方、力及ばず救えなかった無念さが交錯した日々が今でも脳裏に焼きついていきます。胆膵、さらに胃、大腸などの消化器癌の手術も多く経験しました。最近では癌細胞が最初に到達するセンチネル(見張り)リンパ節を見つけて、新しいICG蛍光法を開発し、患者さんにやさしい、侵襲の少ない乳がん、胃癌の手術法の臨床研究も手がけました。

さて、当院は今年で創立50周年を迎えます。前任の小柳院長はじめ歴代の院長先生方や、宮城島、小笠原両副院長はじめ病院スタッフの努力で、労働者特有の疾患に対する医療を推進すると同時に、癌、糖尿病などの成人病にも力を注いできました。

た。その努力が認められ、今、本院は、地域がん診療連携拠点病院の指定も受けており、道東地域のがんセンター的機能を果たしています。さらに医師不足など厳しい状況の中でも、運営組織の枠を超えて、釧路赤十字病院、市立釧路総合病院と連携して、高い医療水準を維持し、さらにドクター・ヘリも飛ばし、遠隔地域の患者さんの救命に貢献しています。

医療の原点は患者さんと我々医療スタッフとの一対一の関係から始まります。患者さんは、健康な時以上に敏感、神経質になっていきます。医療スタッフの一言で元気になったり、勇気づけられたり、反対にちよつとした言葉で不安が増幅され、大きく落ち込みます。病院をホスピタル(hospital)といいますが、これはもてなす、お世話をする意味の英語(hospitality)からきています。この原点を忙しいあまりに忘れがちになる。要注意です。安心して診察が受けられ、病気の不安を少しでも和らげられるか常に考え、皆さんの、かかりたい病院、家族や友人にも紹介したい病院、を目標としています。

最後に、院長は野球チームの監督またはオーケストラの指揮者に相当するかもしれません。医療は野球やオーケストラと同じようにチームで行います。医師と看護師はじめてのコミュニケーション、事務方、さらには食事を作る、栄養士、厨房の方々など、多くの職種との密な連携が必須です。この病院から多くの優秀な医療者が育ってくれたことももう一つの願いです。そして、この病院を一時離れても、また戻ってきて欲しいです。

野球監督として良い医療への直球のサインを出す一方、指揮者として新たな楽章を皆さんと一緒に奏でたいと思います。

労災病院ドクター紹介 Vol. 24

- ①職種・氏名 ②生年月日・血液型
- ③出身地 ④専門・得意分野
- ⑤趣味等簡単な自己紹介・患者さんへ



石井 秀幸 先生

- ①耳鼻咽喉科部長
- 石井 秀幸
- ②昭和44年2月3日
- ③小樽市

④耳鼻咽喉科
⑤4月より勤務致しております。当地の医療に少しでも多く貢献致したく存じます。宜しくお願致します。



小西 康平 先生

- ①内科部長
- 小西 康平
- ②昭和46年3月17日
- A型
- ③札幌市

④消化器
⑤平成22年4月より当院内科に勤務しております。釧路の医療に可能な限り尽力させていただきます。何卒宜しくお願い申し上げます。



森本大二郎 先生

- ①脳神経外科部長
- 森本 大二郎
- ②昭和49年1月4日
- O型
- ③東京都

④脳神経外科
⑤今年4月から勤務しております。一昨年に引き続き、釧路は2回目です。担当は脳神経外科で、脊椎脊髄外科を専門にしています。道東地区の地域医療に貢献できる様、またより満足度の高い医療を提供できる様に努めたいと思います。宜しくお願致します。



放生 憲博 先生

- ①整形外科部長
- 放生 憲博
- ②昭和49年10月24日
- A型
- ③富山県

④脊椎外科
⑤本年4月より釧路労災病院の一員として勤務しております。脊椎外科を専門としております。道東地区の中核病院である釧路労災病院で、これまで研鑽してきた知識や技術を地域の方に役立てるよう頑張りますので、頸椎・腰椎疾患でお悩みの方はご相談下さい。

◎ 釧路労災病院は、今年開院50周年です。